

□ 令和元 年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2 年度 実施計画調書 (□ 新規 □ 拡充 □ 縮小 □ 休止・廃止 □ 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	021									
事務事業名	右下総合福祉センター運営管理経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	03	項	01	目	09	事業	01
担当部	保健福祉部	担当課	社会福祉課		担当係	社会		係												
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市右下総合福祉センターの設置及び管理に関する条例)												

2 事務事業の目的										①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。															
現状課題	本来、当センターは、市民の生きがいづくり、保健予防及び健康づくり、介護予防及び生活支援、障害者の自立及び社会生活支援等の業務を通じ、市民の福祉の向上並びに健康の保持及び増進に資するために設置したが、建設後18年が経過し、機械設備の老朽化は深刻な状況である。特にお風呂については、維持修繕費等に多大なコストを要する反面、利用者の固定化の問題があり、事業見直しの時期を迎えている。施設の貸出利用については、依然として健診業務での利用や福祉団体等による会議室の利用が中心となっているが、一般の利用も増加傾向にあり、利用料金改正後の10月以降も予約状況に大きな変化は見られない。ただし、平成31年4月からは2年間の予定で、統合幼稚園(石下東部地区)として、大広間等施設の一部を利用して運営しているため、昨年度とは利用動態に変化がある。					誰・何を対象に	①福祉センター設備、②福祉センター自体					どのような方法・手順で	①福祉センター設備の大規模修繕を行う、②福祉センターのあり方を検討する、お風呂業務の見直しを行う					望ましい状態	①設備の不具合のない安定した施設運営及び快適で良質なサービスの提供 ②本来の設置目的に沿うよう、保健福祉関係の部署が事務室として使用し福祉・保健に関する業務を提供するとともに、会議室を一般に貸し出す形にする。						

3 事務事業の主たる成果指標										④ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。											
指標名	浴室・大広間の利用者数	単位	人	目標値	4,000	目標年次	2022	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	平成30年度の利用実績が、浴室約9,000人、大広間約4,000人であることを踏まえ、次の2つの理由により目標数値を設定した。①浴室廃止のため2020年度以降約9,000人減 ②大広間の利用者はH30年実績の4,000人程度と想定										

4 事務事業の実績 ①										⑤ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	平成28年度					平成29年度					平成30年度																			
	業務名					業務名					業務名																			
	活動量					活動量					活動量																			
	①	浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受	51日	①	浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受	301日	①	浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受	295日																					
	②	備品の貸出	51日	②	会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受	301日	②	会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受	295日																					
	③	施設の維持管理	51日	③	備品の貸出	301日	③	備品の貸出	295日																					
	④	施設入居団体との連絡調整	10日	④	施設の維持管理	301日	④	施設の維持管理	295日																					
	⑤			⑤	施設入居団体との連絡調整	60日	⑤	施設入居団体との連絡調整	60日																					
	⑥			⑥			⑥																							
	⑦			⑦			⑦																							
	⑧			⑧			⑧																							
	⑨			⑨			⑨																							
	⑩			⑩			⑩																							
⑪			⑪			⑪																								
⑫			⑫			⑫																								
目標値に対する実績値		0			人	目標値に対する実績値		13130			人	目標値に対する実績値		12670			人													
決算額	計	10,961,407	円	内訳	特定財源	571,500	円	一般財源	10,389,907	円	計	32,225,338	円	内訳	特定財源	2,548,200	円	一般財源	29,677,138	円	計	32,246,196	円	内訳	特定財源	2,578,180	円	一般財源	29,668,016	円
(住民一人あたりの行政コスト)		180			円	(住民一人あたりの行政コスト)		533			円	(住民一人あたりの行政コスト)		537			円													

5 担当者評価 ③										⑥ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。											
成果	目標未達成	成果内容	水害後、はじめて年間を通じて閉館したが、お風呂の温度調節ができないといった不具合が生じ、浴室の利用ができない状態になった。																		
問題点	・お風呂については、維持に相当な金額がかかっており、福祉センターの上下水道の8割、灯油代の6割がお風呂の分である。仮にお風呂を廃止すると800万円が削減できる試算であり、利用者も固定化している施設であるため、お風呂の廃止を検討すべきである。 ・築18年を経過するが、これまで大規模な修繕を行なわなかったことに加え、水害後にしばらく機械を動かさなかったこともあり、機械の不具合が増えつつあるので、機械設備の大規模な修繕を検討すべき時期である。																				

6 担当部長及び担当課長評価 ④										⑦ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。											
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	施設の利用状況を勘案しながら、施設全体の経費削減を行う必要がある。そのなかで、利用実人員が約50名程とほぼ固定客化されている入浴施設については、リハビリ等の福祉関連施設が併設となって健康面での入浴利用がなされているわけでもなく、多額な予算を充当しながら継続していく必要性は低いと考える。																				

7 実施計画 ⑧										⑧ 今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。															
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度														
事業内容	一般利用者への貸出業務 ・浴室の受付、貸出、利用料收受 ・会議室利用の受付、貸出、利用料收受 ・備品の貸出 施設の一部を利用した統合幼稚園業務 ・大広間、和室等を改装し保育業務に利用(一般利用は休止) 施設入居団体との連絡調整業務 ・契約、利用、休館等に関する連絡調整 ・電気料金等の收受 施設の維持管理業務 ・機器借上、保守管理、清掃等の各業者との契約、連絡調整 ・市直営による草刈、枝払い ・故障した機器の修繕 ・JAデイサービス空調設備増設工事 ・建築基準法に基づく「建築物及び防火設備等の定期報告」					一般利用者への貸出業務 ・浴室の受付、貸出、利用料收受 ・会議室利用の受付、貸出、利用料收受 ・備品の貸出 施設の一部を利用した統合幼稚園業務 ・大広間、和室等を改装し保育業務に利用(一般利用は休止) 施設入居団体との連絡調整業務 ・契約、利用、休館等に関する連絡調整 ・電気料金等の收受 施設の維持管理業務 ・機器借上、保守管理、清掃等の各業者との契約、連絡調整 ・市直営による草刈、枝払い ・故障した機器の修繕 ・建築基準法に基づく「建築物及び防火設備等の定期報告」					一般利用者への貸出業務 ・大広間の受付、貸出、利用料收受 ・会議室利用の受付、貸出、利用料收受 ・備品の貸出 施設入居団体との連絡調整業務 ・契約、利用、休館等に関する連絡調整 ・電気料金等の收受 施設の維持管理業務 ・機器借上、保守管理、清掃等の各業者との契約、連絡調整 ・市直営による草刈、枝払い ・故障した機器の修繕														
	成果指標	指標名	浴室の利用者数	単位	人	目標値	9000	指標名	浴室の利用者数	単位	人	目標値	9000	指標名	大広間の利用者数	単位	人	目標値	4000						
	予算額	歳出	計	35,711					千円	歳出	計	27,048					千円	歳出	計	26,248					千円
		歳入	特定財源	3,619					千円	特定財源	8,389					千円	特定財源	4,688					千円		
			一般財源	32,092					千円	一般財源	18,659					千円	一般財源	21,560					千円		
			計	35,711					千円	計	27,048					千円	計	26,248					千円		

8 財務アドバイザーの見解									
6の評価理由にあるように、市が本事務事業を行う必要性がわからない。市が毎年3千万円を費やしてまでやるべきことなのであろうか。休止・廃止も選択肢として、本事務事業の必要性と計画に関するゼロベースの検討を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 特に入浴施設に関しては縮小が適当であり、今後はセンター全体の利活用について考えていかなければならない。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑨																					
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	当センターは、市民の福祉の向上並びに健康の保持及び増進に資するため、設置されているものである。センターの設置の趣旨に鑑みながら今後も施設運営をし、財務アドバイザーの見解を含め、財源不足を考慮し、施設運営には経費削減等を念頭に見直しされたい。																				

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑩										⑨ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。											
事業内容	浴室業務については、多額の光熱水費及び施設維持費等が必要であるが、令和元年度上半期の実利用者数(市民)は130人程度に限られているうえ、一日当たりの利用者数も平均17人を下回り、費用対効果について疑問がもたれる状況である。これに加えて、利用者数の減少傾向も明らかであり、廃止を含めた見直しは避けられないと考える。 本事業が廃止となった場合については、当該部分の改修・用途変更等について、検討を進める必要がある。																				